

日本生活体験学習学会

第23回研究大会 大会要項

2020年度に予定されていた第22回研究大会（佐賀大会）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急遽非参集型の開催となりました。第23回大会は感染症対策をとりながら、改めて佐賀県の西九州大学・短期大学部での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見込めない現状を踏まえ、対面による開催を見送り、今年は開催方法をオンラインに変更して実施いたします。

新型コロナウイルス感染症の蔓延から1年が経過しましたが、この間、私たちの生活は様々な変化や対応を余儀なくされました。保育や教育、医療や福祉の場においても同様、その都度臨機応変な対応が求められたことと思います。しかし、そのような状況下でも、これまで大事にされてきた理念や質の保証を担保しつつ、新しい対応について議論し、またこれまでの活動を問い直し、変化するもの、変えられないものを再考されてきた一年だったのではないのでしょうか。

佐賀大会では、新型コロナウイルス感染症と生活体験をテーマに、感染症が子どもの生活体験に及ぼした影響を多面的に検証し、生活体験学習理論の発展に向けて議論を深めていきたいと思っております。オンラインだからこそ日本全国におられる会員の皆様と意見を交わし、議論を深め、今後の学会の発展につなげていく機会にできたらと考えております。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

第23回佐賀大会実行委員長 上野 景三（西九州大学）

1. 期 日 2021年9月5日（日）

2. 日 程

■総会 9:00～	■自由研究発表 10:00～12:45	■休憩 12:45～13:45	■公開シンポジウム 14:00～16:30	■閉会 16:30～
--------------	------------------------	--------------------	--------------------------	---------------

3. 開催方法 Web会議システム zoom を利用してのオンライン開催

4. 参加費 無料

5. 事前申込

参加を希望される方は、事前に申し込みが必要です。下記申し込みフォーム、またはQRコードからお申し込みください。会員以外の方の参加も可能です。

申込フォーム <https://forms.gle/wYtVSK6DKsmTdZpv8>

6. 申込締め切り 2021年8月12日（木）



■ 9:00～9:45 ■■ 総会（学会員のみ）

■ 10:00～12:45 ■■ 自由研究発表

個人発表 25分（20分発表 5分質疑）／共同発表 30分（25分発表 5分質疑）
*共同研究の発表者には○を付しています。

司会：植村 秀人（南九州大学）

10:00～10:25 「多世代の家（Mehrgenerationenhaus）」における体験の意味
石村 秀登（熊本県立大学）

10:25～10:50 プレイリーダー研修の改善に関する一考察
～福岡県教育委員会プレイリーダー研修を事例として～
山田 明（九州共立大学）

10:50～11:20 幼児の野外における生活体験活動支援
～社会教育施設の可能性・プログラムの発見と拡大～
○正平 辰男（飯塚市庄内生活体験学校）
○原 和也（飯塚市庄内生活体験学校）

11:20～11:50 保育者を対象とした生活体験プログラムについて
～生活体験学校を活用した保育活動の充実をめざして～
○末寄 雅美（西南女学院大学短期大学部）
○桑原 広治（久留米信愛短期大学）
正平 辰男（飯塚市庄内生活体験学校）
○宮嶋 晴子（九州女子短期大学）

11:50～12:15 小学校におけるカイコの飼育を通じた教育実践
伊東 俊昭（佐伯市立明治小学校）

12:15～12:45 総括討議

新型コロナウイルス感染症と生活体験学習

新型コロナウイルス感染症は、生活体験学習の展開に大きな影響を与えたことは周知のことと思います。昨年を振り返ると、学校に休校要請が出され、緊急事態宣言が発出され、社会教育施設は休館を余儀なくされました。今でも元のような生活や体験活動には戻っていない状況です。

とりわけ通学合宿のような宿泊型の生活体験学習は、子どもたち同士が、相互の関わり合いの中でともに飲食し、宿泊を体験することによって成長を促そうとするものです。子どもたちの蜜状態は避けることができず、禁止されることによってこの時期を生きる子どもたちにとっては、各種の体験ができなくなります。そのような状態の長期にわたる継続は、子どもたちの成長にどのような影響を及ぼすのかは、はかり知れません。

生活体験学習を研究対象とする本学会は、この事態を客観的にとらえつつ、その影響の広さと深さを分析しなければなりません。しかし、今回の事態は現在進行形であり、客観的にとらえていくことも難しい面があります。

そこで、今回のシンポジウムでは、今回の新型コロナウイルス感染症が生活体験や生活体験学習にどのような影響をおよぼすのか。まずは古賀会長から、問題の全体像について提起していただきます。その上で、新型コロナウイルス感染症が生活体験学習に取り組む施設・機関にどのような影響を及ぼし、それを乗り越える努力の営みがあったのか。その点をモノグラフ的に解明していきたいと思います。紀要の特集と重ね合わせながら、リレートーク方式で多面的にアプローチをしていきます。最後に、現状から導き出される論点について整理を行います。

【登壇者】

上野 景三（西九州大学）

「テーマ設定の趣旨」

古賀 倫嗣氏（日本生活体験学習学会会長 放送大学熊本学習センター客員教授）

「新型コロナウイルス感染症と生活体験学習」

会員からのリレートーク

「新型コロナウイルス感染症下での生活体験学習への取り組み」

恒吉 紀寿（北九州大学）

「報告とリレートークからの論点整理」

【司 会】

岡 幸江氏（九州大学）

■□■□■□■事務局からの連絡■□■□■□■

- Web 会議システム zoom を利用してのオンライン開催に伴い、参加を希望される際は、事前にパソコンやタブレット、スマートフォン等に zoom アプリ（無料）をダウンロードしていただく必要があります。予め zoom アプリをホームページ（<https://zoom.us/>）よりダウンロードしてください。なお、zoom アプリは、無料のもので問題なく大会に参加できます。アプリのダウンロード方法がご不明な場合は、事務局（info@seikatsu-t.org）までお問い合わせください。
- 参加を希望される方は、事前申込が必要です。本大会要項の1ページ「5.事前申込」をご確認いただき、期日までにお申し込みください。
- 参加申し込み時に記載していただいたメールアドレスへ、大会1週間前を目途に、zoom ID ならびに発表要旨をお送りします。学会事務局（info@seikatsu-t.org）からのメールを受信できるよう設定をお願いします。
- オンライン開催に伴い、発表要旨集録の冊子印刷は行いません。参加申し込みをされた方へデータ版の発表要旨集録を配布しますので、研究大会当日はそちらをご確認ください。
- 研究大会参加に伴う zoom ID 等を第三者に提供することはご遠慮ください。
- 研究大会当日は、視聴時のカメラおよびマイクはオフにしてご参加ください。ご発言の際にはご自身でカメラおよびマイクをオンにいただき、発言終了後は再度カメラ、マイクをオフに戻していただきます。なお、音声の流入や全体運営に支障がある場合は、事前の通知なく接続を切断させていただく場合がありますのでご了承ください。
- 自由研究発表や公開シンポジウム、総会等の内容の写真撮影、動画撮影、音声録音、スクリーンショットは、原則禁止いたします。
- 研究大会当日の参加者からの接続不具合や問い合わせには、実行委委員会ならびに事務局では対応できませんのでご了承ください。

日本生活体験学習学会 事務局

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 大分大学教育学部 永田研究室内
TEL/FAX : 097-554-7559 E-mail info@seikatsu-t.org

第23回研究大会 佐賀大会実行委員会

〒840-0806 佐賀県佐賀市神園3丁目18-15 西九州大学子ども学部 上野研究室内
TEL : 0952-31-3001 (大学代表)